

## S発電所 ソーラーフロンティア 工事写真

No. 1

S発電所 S1発電所10.2Kw+S2発電所3.4Kw 合計13.6Kw  
《S2発電所はS1発電所の増設分》

### 1、S1発電所 10.2Kw

農機具倉庫2棟の上に、170Wのパネル東30枚、西30枚の合計60枚。

内訳は、倉庫平屋30枚（東西各15枚）、2階建て30枚（東西各15枚）

パワコンは、5.5Kwを2台。（東用と西用）

10Kw以上は、産業用となり20年間の売電。38.88円（36円+税）

H26年2月中頃に申請、3月14日に認定。4月中頃に工事。4月25日より発電。



金具設置個所の瓦と左右の瓦、計3枚単位で、瓦を外し土を除き、瓦3枚の大きさの板を置き、屋根下の垂木に固定していく。



取付ける金具の厚み分を、瓦の裏側を削る。



金具を取付け、瓦を置く。



縦棧を置き、横棧を設置。配線をしていく。



太陽光パネルの設置。倉庫 2 階建ては完成。左は西側、右は、東側、写真は 4 月撮影電柱に近い



左：モニターホームサーバー、ネットは有線接続。中：ディスプレイとは、無線接続。  
右：左側と中央のパソコン 5.5 Kw 2 台、右側はサンヨー用パソコン。

- ・ 関電への接続工事、引込線を旧線から 22mm<sup>2</sup>線に交換工事 47,524 円負担する。産業用は、関電への接続工事を負担する必要がある。
- ・ パソコンが発電 0 になってから、停止するまでの数分間の買電が、月に約 540 円（定額電灯）。発電無し時のパソコン 2 台の自己消費分、買電分が毎月かかる。パソコン 4 Kw が増設された秋以後は、3 台で約 540 円 ⇒ 765 円



左：左の2台は、2年前設置のサンヨー用（現パナソニック）メーター。右端が、今回の売電専用のメーター。 上記右写真：ソーラーフロンティアのマーク



この部分は、少しぶさいくだが、自分でステンレス板を張る。少しは光を稼げるか？



ガレージ上は、N発電所：2年前設置のサンヨー（現パナソニック）。230W36枚の8.28Kw  
倉庫上は、S1発電所：今回設置のソーラーフロンティア 170W60枚の10.2Kw。  
合計で、18.48Kw。S発電所は、妻名義にしている。S1は3人で3日間半の工事。  
※今回のS1、倉庫に載るだけで10Kw以上載せられるかで、5社に見積もり依頼する。

- ・載らない場合は、ガレージ横や前のスペースで鉄骨を組み3～4Kw設置も検討し見積を取る。
- ・東芝12Kw、パナソニック11.52Kw、シャープ10.69Kw、カティアソーラー等で見積合わせ。
- ・影に強く、国産で、パネル20年保証、実発電No.1であるソーラーフロンティアに決定。

◎倉庫南敷地内にある電柱は関電に依頼し、道路沿いに東に移動。この電柱の影が気になっていた。

2月に電柱移転を関電に依頼し、8月に東に7～8m移動する。影を気にしなくて良くなった。

## 2、S 2 発電所 3.4 Kw

S 2はS 1 発電所の増設分として、H 2 6年8月に申請し、9月29日に完成。  
10月10日より発電する。S 2は増設分なのでS 1と同じ産業用扱いとなり、売電は  
S 1と同金額の36円+外税で38.88円。左記料金でのS 2の売電期間20年は、  
S 1と同じで20年後の4月24日までとなる。

ソーラーフロンティアの170Wパネル東10枚、西10枚の合計20枚。3.4 Kw  
(東西共に、左右に5枚、上下に2枚で東西各10枚の構成。)

パソコンは、4 Kw 1台。 ホームサーバー、モニターはS 1と共用する。

- ・増設により、関電への接続工事、引込線22mm<sup>2</sup>線を撤去し、新たに38mm<sup>2</sup>線に交換。  
工事費 53,128円を負担する。線が太くなり、売電がしやすくなるか？

S 2の工事は、S 1と同様（業者も同じ）なので工事写真は省く。以下は完成写真。



北西より望む



パソコン：農機具倉庫内に設置4 Kw、約40mの配線



北東より望む



パネル右下にソーラーフロンティアのマーク

S 発電所：S 1 発電所10.2 Kw + S 2 発電所3.4 Kw = 13.6 Kw

N 発電所：H 2 4年3月設置のキヨー（現パナソク）。230W × 36枚 = 8.28 Kw  
発電の合計 21.88 Kw

## S 発電所を作るのに考えた事

- 太陽光発電所を作るのであれば、10 Kw以上を家に載せる。
- 10 Kw以上積載できるか？ どこに載せるか？ 工事費はいくらか
- 10 Kw以上で、産業用となり、国の補助金は無いが20年間の売電ができる。
- 産業用は、引込線等の接続工事代について、売電側の負担が必要。  
5万円ぐらいなら安い方だと言われる。 増設したので2回支払。  
結果、引込線が太くなり売電もしやすくなったように感じる。
- 増設の場合は、どうするか？ 売電期間10年のNにするか、20年のSにするか  
我家はどちらも可能ですが、確実に稼げる20年のS発電所に増設。
- 電柱の影が気になり、10 Kw以上のパネル設置をするか悩んでいました。
- 関電に電柱移設申請時には、移設できるかは、確率約50%ぐらいと言われていました。
- 電柱の移設。敷地内東南の角にあった電柱が、7～8m東の道沿いに移動。  
パネルに電柱の影がほとんどかからなくなった。2月の申請より約6ヶ月。
- 電柱の影が気になり、パネルは最終的にソーラーフロンティアに決定。  
影に強い、20年保証、他メーカーよりも面積がいるが実発電が多い、経年劣化による発電ロスが少ないのが選んだ理由。  
他メーカーのパネルは影に弱い。
- 我家のN発電所も隣家の電柱の影が午後3時半ごろになるとかかり、発電が急落していました。
- S発電所のパネル面は東面・西面であるが思った以上に発電するので、ソーラーフロンティアにして良かったと思います。